

国際交流について

1. インド・マハラシュトラ州との交流

平成25年10月、和歌山県は在大阪・神戸インド総領事館の協力のもと、インド共和国マハラシュトラ州との間で観光および農産品と食品加工分野における相互経済関係の促進・拡大を目的とした覚書を締結しました。その後、平成30年1月には覚書を更新するなど、多方面での交流を重ねています。本年は日本とインドの国交樹立70周年の記念の年であり、さらに来年には、当県とマハラシュトラ州との覚書締結10周年を迎えることから、様々な交流事業を実施予定です。

① 本県職員のインド訪問(4月26日(火)から5月2日(月))

(1) マハラシュトラ州関係者との協議

アディティ・タックレ観光大臣(閣外)(国民会議党)と覚書の更新について協議を実施しました。大臣からは、「コロナ禍以降、和歌山県が一番に同州を訪問してくれた。世界幾つもの地域と覚書を交わしてるが、和歌山県との交流が一番活発である」との言葉をいただきました。

また、アディティア・タックレー観光大臣が今秋に本県を訪問する予定となりました。



(2) スミット・マリック州情報局長官との面談

長年にわたり和歌山県とマハラシュトラ州間の友好交流促進に多大な貢献を果たしていただいている、マリック州情報局長官を訪問し、令和4年度和歌山県知事表彰(教育、文化等の振興)の受賞を伝え、本年8月に本県を訪問いただけることになりました。



(3) 深堀在ムンバイ日本国総領事訪問

深堀在ムンバイ日本国総領事に対して、来年度の覚書更新に向け、協力を依頼しました。また、同総領事から中野BC株式会社がムンバイの酒造会社へ技術支援し、DOJA(ドジャ DOは、INDO、JAは、JAPAN)というジンをインドで販売を開始したところ、販売が好調であるとの発言があったため、製造元の East Side Distillery 社アナンド社長を訪問しました。アナンド社長は、今年中に中野BCを訪問し、今後の展開について中野社長と協議したいとのことでした。

(4) D Y Patil グループ(学校法人)への修学旅行提案

同グループは、マハラシュトラ州を中心に約70校(小、中、高、大学)を運営し、プネ市内でも生徒数は、約2万5千人います。和歌山県への修学旅行誘致について協議をおこなったところ、今後、日本への修学旅行が可能になった際は、是非、和歌山県を中心に生徒を派遣したいとの言葉をいただきました。

(5) マハラシュトラ州レスリング協会訪問

令和2年10月以降、和歌山県レスリング協会とマハラシュトラ州レスリング協会が覚書締結に向け、本県出身のレスリング選手の現地派遣やオンラインでのレスリング交流を実施しています。今回、和歌山県レスリング協会の谷口副会長がマハラシュトラ州レスリング協会のランゲ副会長を訪問し、来年の覚書締結で合意しました。



② インド仏像奉迎式典の開催

インド政府より高野山大学に仏像が寄贈されました。これに併せてヴァルマ駐日インド大使ご夫妻が高野山を訪問され、仏像奉迎式典に参加されるとともに、高野山大学にて同大使の講演会を実施しました。



2. ウクライナ義援金&交流

① ウクライナ義援金

令和4年3月7日から「ウクライナ人道危機義援金」を募集してきたところ、総額2,500万円を超える義援金が集まっています。

そこで、これまで3月23日と5月17日の二回に分け、駐日ウクライナ大使館を訪問し、義援金を贈呈しました。

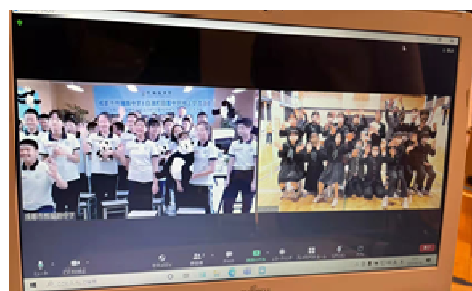


② ウクライナとのオンライン交流

本年3月に和歌山大学附属小学校が児童発案で、同校内での募金活動を実施しました。上記義援金の持参時に同大使館にその旨を伝えたと、同校と同大使館でオンラインの交流を一学期中に実施することになりました。

3. 四川省成華区との青少年交流

本県は、本年1月に中国四川省と友好県省関係を締結しましたが、白浜町も2020年に同省の成都市成華区と友好交流に関する覚書を取り交わしており、さらなる交流を促進するため、オンラインによる学校交流を実施しました。



〈問合せ先〉

企画部国際課

担当：是永、山下 電話：073-441-2061